

第64回全国植樹祭式典音楽専門委員会(第3回)議事録

平成24年6月12日(火)

15:00~17:40

西部総合事務所第16会議室

(凡例)

●…委員発言

○…事務局職員発言

□…オブザーバー発言

○梅田参事

では、お揃いになりましたので、ただいまより、第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会式典音楽専門委員会、第3回を開催いたします。前回同様、本日の会議にも、オブザーバーと致しまして乃村工藝社の高井さんと浅野さんに出席していただいております。よろしくお願ひ致します。

□乃村工藝社 高井ディレクター・浅野ディレクター (以下「D」と記載。)

よろしくお願ひ致します。

○梅田参事

議事に入ります前に、全国植樹祭課長大北から御挨拶、それから小谷委員長から一言お願ひしたいと思います。

○大北課長

皆さんこんにちは。

●○□全員

こんにちは。

○大北課長

本日事務局員は、この(トッキーノのロゴマーク入りの)ポロシャツを着てまいりました。背中の蝶々はゼフィルスと言って「森の宝石」と呼ばれていますし、こちらの鳥、猛禽類は、大山のブナ林と生物の多様性を象徴しております。今日、午前中ありました、県議会農林水産商工常任委員会では、執行部全員がこのポロシャツを着用してPRしてきましたし、実は、お手元にお配りしております長田茶店のお茶ですが、6月からはこの「トッキーノ」が入ったラベルに変わるということで、当初3万本、来年の6月までには12万本製造されるというようなことを聞いているところでございます。

さて、5月27日に、山口県で全国植樹祭が開催されましたので、来年の今頃はもう第64回全国植樹祭は終わっていますので、もう残り1年を切った事になりました。小谷委員長、そして、竹田副委員長には、実際に全国植樹祭山口においていただきまして、今日も会議の中で、視察の結果等について説明していただきたいと思ひます。

また、その1週間前になりますが、5月20日、とっとり花回廊におきまして、県の植樹祭、全国植樹祭のリハーサル大会を開催したところでございます。小谷先生や池田先生には、採譜にも参加いただいたということでございます。

委員の皆様には、全国植樹祭開催に向けて引き続きご支援をお願いします。本日は特に、前日も討議した式典音楽隊の編成選曲等について、より具体的な中身に突っ込んだご意見を承りたいと思いますので、よろしくをお願いします。

●小谷委員長

残り1年を切ったということですが、山口大会を見てまいりました。後でご報告しますが、すごいい人数、1万人という数の招待客といますから、うち（本県）の倍ですね。うちは5千人だそうですので。ものすごく広い会場で、すごく大がかりで警備も大変でしたし、そんなにカンカン照りではなかったんですけども、紫外線がすごく強くて（日焼けで）こんな色になったり、帰って一晩寝て起きたら顔が、目が開かなくなって大変な思いをしましたが、非常にいい大会でした。それに負けないような大会にしていかななくてはならないな、というふうに思いながら帰ってきました。本当に1年切ってしましまして、決める所は早く決めてしまいたいという気持ちでおりますので、よろしくお願ひ致します。

○梅田参事

ありがとうございます。それでは、議事に入ります。全国植樹祭鳥取県実行委員会則第12条第5項の規定によりまして、本専門委員会の議長は、小谷委員長に務めていただきます。よろしくお願ひ致します。

●小谷委員長

それでは次第にありますように、山口の視察報告からしたいと思います。山口県からビデオ（記録映像）が届いたようですので、関係するところをかいつまんで皆様に見ていただいて、それから、討論に入ろうと思いますので、よろしくお願ひ致します。

○坪倉主事

よろしくお願ひいたします。山口県から届いたビデオですが、お手元の参考1と書いております、式典本番プログラムと合わせて見ていただくと分かりやすいようになっております。また、音楽隊の配席、どういう規模でどういう楽器があったか、どのパートの合唱団は何人あったかというのは、資料の参考2として付けておりますので、またそちらもご参考いただければと思います。それでは、再生いたします。

[ビデオ再生]

●小谷委員長

以上のような大会でした。マスゲームといいますか、そのようなアトラクションがふんだんに盛り込まれています。それで、資料の1ですけども、私と、竹田先生とで式典音楽関係を視察してまいりました。気のついた所を箇条書きにしておりますけれども、吹奏楽隊については、譜面台（の脚）に（工事現場の）コーンの重りをカポッとほめて、これは

いい方法だなと思いました。それから、木管と弦バスは、ご覧になったように、タオルを巻いてありました。たぶんそのためだろうと思いますが、音の出はやや悪かったように感じました。

指揮者は上下黒のモーニングに蝶ネクタイで「作ったのか？」と聞いたら、「自前です」と言われました。それから、4名の指揮者にキューを出す人が1名と、曲名の指示を出すプラカードの係がいたようです。

打楽器は見てもらったように、吹奏楽隊は、屋根がありませんけれども、打楽器のところには、テントを張ってありました。私の報告書からはスネアドラムが落ちていますけれども、だいたいその楽器の数が、参考2に編成が書いてありますので、省略したいと思います。プロローグが始まる10分前に10分間の音出しがありました。

ひじょうに会場が広いということと、そういうこと（山口きらら博）をやった会場ということで、会場には体育館（多目的ドーム）が隣接してしまっていて、たぶんそこでかなり練習をしてから移動して、その席に着いたということで、会場的にはひじょうに恵まれていました。花回廊ではどうするのか、よく考えないといけないなど。

それから、感謝状の贈呈、終わりは比較的無造作に終わっていたような感じがします。ファンファーレは、大会宣言と閉会宣言は同じ曲が使われていました。合唱はかなり上手く聞こえました。

次の（資料1の）11番からはちょっと問題だなと感じたところです。音楽隊のPAと全体のPAが上手く合っていない。司会の言葉が入ると、そこに吹奏楽隊の音楽が乗ってきて、非常に聞き苦しい状態で、たぶん業者の問題だと思います。それから音楽隊、特に吹奏楽隊の音が出ず、全体的に音が小さいような気がしました。

次の間をあけているのは、今度来年こちらですするのに、気がついたことで、本県では音楽隊席は屋根付きなので必要ないとは思いますが、ただ、時間帯と太陽のこの差し方で状況を調べないといけないのかなということ。それから吹奏楽隊、合唱隊、オーケストラ隊が入ることになると、かなりの大きな屋根付きの音楽隊席にする必要があるかと思っています。

それから、エピローグとかの出し物的な物が出来るかなと、ちょっと心配だなと思いました。

出演者の水分補給、紫外線対策、これは、私が体験したので、（笑）そういうことも、招待状に書いてあったらよかったかなと、ちょっと思いました。（笑）

以上が、私の山口に行つての感想です。

●竹田副委員長

音楽隊、ファンファーレにつきまして、山口国体用ということで、2011年発表ですから、新しい感じがしましたが、今回使用した分では、僕は、尺が長いんじゃないかなと思って、20秒ちょっとくらいがちょうどいいんじゃないかなと思いました。

それから、おっしゃるとおり、音楽隊の音が出る場所のスピーカー（の音量）がもう

ちょっと大きくても、場所にもよるかもしれませんが、いいかなと思いました。

それから、同じようにアナウンスが流れる前に、メインスピーカーから音楽隊の音が流れて聞き取りづらいとか、ここで音楽隊の音を出さなくてもいいのにと思いました。

既成の曲は少なく、山口県オリジナルの曲がほとんどでしたが、山口県らしさが出ていて良かったように感じました。

それから、ちょうど会場の真後ろに（多目的）ドームがありまして、あれがちょうどよかったなあと思いました。荷物は置けるし、音出しは出来るし、練習は出来るし、2分で座席につけるので、本当にベストだなと思いました。

あとは、小谷先生が書いていらっしゃるように、とってもアトラクションが素晴らしかったのがよかった。また、やっぱり、天気・暑さの対応が必要だなと思いました。（笑）

以上です。

●小谷委員長

何か、この報告に対して、何かお聞きしてみたい事はありますでしょうか？

●新倉委員

すみません。小谷先生の資料の8番のⅡとかⅣとかⅢというのは何ですか？

●小谷委員長

これはね、ファンファーレの曲が分かるように、ファンファーレⅡとかタイトルが付いている。

●新倉委員

分かりました。

●小谷委員長

それが、36 というのは 36 秒という意味です。

●新倉委員

秒数ですね。はい。

●小谷委員長

ちょっと、長かったですね。

●新倉委員

あと、「本県状況は？」とお二人が言っていた、マスゲーム的な出し物については、構想があるのでしょうか。

●小谷委員長

これは、乃村工藝社さんがだいたい構想を練っておられます。

●新倉委員

そうですか。

□乃村工藝社 浅野D

山口も踏まえているんですけども、マスゲームという形になるのかどうか、全般的に山口はすごくロケーションもよくてですね、海側にすごく青空が広がっていて、華やかさい

っぱいでいて、すごくよかったです。あれをそのまま鳥取の会場にもってきても合わないかなというようなことがありますので、多少は控えめにというようなことにはなりますが、元気さとか華やかさという部分は失わずに、鳥取らしさを出していけたらと思いました。

あと、フィナーレでありました、出演者全員の紹介みたいな所はどのようにしようかなと、最後はやっぱり全員でフィナーレを飾るというところは、同じような形にしたいなという風に思います。

●池田委員

雨対策はどうなるのか？

●小谷委員長

特には聞いていませんけれども、(山口県は) いよいよ大降りなときには、隣のアリーナ(多目的ドーム) でやるつもりだったでしょ？

○濱本補佐

はい、そうです。

●小谷委員長

室内で。

○近藤補佐

バンブー(オーケストラ)は、前の日までテントが実際にあったんです。当日になっただけでなかったです。

○濱本補佐

指揮者に前日に、「これ(屋根)はそのままですか」と聞いたら、確か「取る」って言っていましたね。吹奏楽隊には屋根がないのに、バンブーオーケストラには屋根があったものだから。

●池田委員

MCマイクは何本位？

●小谷委員長

参考という資料、後ろの二重丸が付いた合唱隊、吹奏楽隊はあんまり分かりませんが、数を調べたわけではないのですが、小さいような気がしたので、PAでどうにかあったのかもしれませんが。それともう一つ、来年のうちの大会を考えたら、箱物で音楽隊が入りますのは、その音楽隊が切れた後ろの人たちにも聞こえるようなスピーカーが必要だと思います。真ん前に取っていますので、後ろの人達にも聞こえるようなスピーカーがあるといいかなということです。PAの詳細については、以上のとおりです。

報告は以上でよいでしょうか？ そうでしたら、本題に入りたいと思います。式典の選曲について、事務局の方からお願いします。

○坪倉主事

事前に開会通知書とあわせて(CDを)送らせていただいております、そのリストを書いております。あと、CDでお送りしていませんけれども、採譜を使った曲もこういう

ようなシーンで使う事を想定していますので、ちょっと入れさせていただいておまして、今からちょっと改めてCDを持って来ていますので、聞きながらになりますけれども、赤枠で囲ってあります、使用プログラムというところ、具体的にどういうシーンで（それぞれの曲を）使っていくかというようなところについて、ご意見をいただけたらと思っております。では、再生してよろしいでしょうか。

[音楽再生]

○坪倉主事

採譜の曲も、別CDでありますので、このままかけさせていただきます。採譜については、資料4の後ろに付けてあります楽譜が、桜井有機子先生から送られてきました。これを音楽ソフトで聞ける状態にしたものです。まずは、「山のいのち」から。

[音楽再生]

※「木のいのち」、「草花のいのち」、「自然のいのち」についても同様に再生

採譜の曲は、ちょっと分かりにくくて申し訳ないのですが、今のが、3月31日・4月1日に行った採譜をもとにつくられた山・木・草花・自然の4曲です。5月20日に小谷先生や池田先生に参加いただいて行った採譜の曲（メロディ）は、また別の場面で使わせていただく予定です。

●新倉委員

例えば、「山のいのち」ってありましたよね。何ページか知らないんですけども、楽譜のはじめ、それで「鳥ヶ山（とりがやま）」というのが、2小節あって、「山の頂上1」というのが2小節あって、「山1」、「大山1」というふうに色々ありますよね、これは、「鳥ヶ山」というメロディーが、子どもが鳥ヶ山をかたどって作ったわけですよね。「山の頂上1」というのは、やっぱりどの子どもかは分かんないですけども、頂上をかたどったんですよね。これをつなげたのは？

□乃村工芸社 高井D

ちょっと、補足させて下さい。全部で3月31日・4月1日に採譜をした子ども達の採譜の小節は242ありました。その中で前回の会議でのテーマを決めてやった方がいいんじゃないかという意見をいただいていたので、その中で、山と木と草花とそれ以外の自然の物から採ったカテゴリーに分けました。それぞれちょっと曇っていたり、雪が降ったりして、山が少なかったんですけど、山はサンプルが19、木が115サンプル、草花が56、それ以外の自然の森から採った物が52、それぞれ子ども達が採った数がありました。

●新倉委員

その2が2小節とか1小節のが、それですね？

□乃村工芸社 高井D

その「山のいのち」が、上のタイトルはこれからどこに使うかっていうのは決めていくんですけども、これは、山っていうのから採った中で、子ども達が「私は何を見て書きました」というのをメモで書いていましたので、それが分かるようにこの上

に書きます。それで1小節が、1小節単位で子ども達が書いていますので、この鳥ヶ山っていうのを採ったものは、それは2小節書かれていましたよね。

●新倉委員

ですよね。

□乃村工藝社 高井D

それをそれぞれに、山ばかりの中からメロディをつなげてもらったという状態です。

●新倉委員

それをつなげる時の何か（ルールは）あるのですか？「鳥ヶ山」から「山の頂上1」につないだというのは何かこう、鳥ヶ山と山の頂上がつながっているからではなくて、これが、つながりならば少しメロディになるのかなと思います。

□乃村工藝社 高井D

今新倉先生がおっしゃっていただいたつなぎ方については、子ども達がバラバラで採ったものを桜井先生の感覚でつないでいただいている状態です。

●新倉委員

分かりました。

□乃村工藝社 高井D

もう少し補足致しますと、先生が書かれた時に、下に休符が入っていますけれども、これは作業上残ってしまったということです。「A」が基本ベースとしてありまして、「Aト長調」とありますが、それぞれにコードも書いていただいている、次のページが「B」となっています。「A」がベースで作られていますけど、違うもので「B」が作られているので、この、AとBのつなぎ方は、今後こちらで使う所によって自由にしてくださいということになります。ですので、A、B、Aでも良いと思いますし、A、B、B、A、そういう組合せも使い方しだいということで、今後はこちらでやってくださいというコメントを（桜井先生から）いただいています。他のページも全部そんな形です。

●新倉委員

データーとしては、子どもが書いた「鳥ヶ山」っていうのがたとえば2小節あるとか、キーは違うかもしれないけれども、「山の頂上1」が1小節あるとか、そういうのがバーつであるんですね？

□乃村工藝社 高井D

バラバラで採ったものがありますけれども。

●新倉委員

だいたい分かりました。

○坪倉主事

すみません。「鳥ヶ山（とりがやま）」というのはどうも書き間違いのようで、「鳥ヶ山（からすがせん）」です。（笑）奥大山スキー場周辺で採譜を行いましたので。字が違っていたようで、申し訳ありません。

●小谷委員長

それでは、だいたい採譜については分かりましたでしょうか？

●新倉委員

もうちょっとだけ。先生方（小谷委員長、池田委員）が作った採譜というのは、どうなつたのですか。

□乃村工藝社 高井D

今、ここにお持ちしたのは、3月31日・4月1日に行った採譜によるメロディです。

●新倉委員

過去の物だということですね？

□乃村工藝社 高井D

そういうことです。まずそれを式典の中で使うように、考えています。

●新倉委員

今回先生方がされたものは、また別の形で出てくるというわけですね。

□乃村工藝社 高井D

はい、そうですね。創作劇ですとか。

●新倉委員

分かりました。

●小谷委員長

採譜の事はとりあえず、置いておいて、先に、ファンファーレとか、いわゆる主要曲について、残り1年を切りましたので、目安を付けたいと思いますが、どうでしょうか？ファンファーレについては、4場面ですかね？

○濱本補佐

そうです。

●小谷委員長

前回、既存のファンファーレを使おうかということをお話したので、天皇陛下がお着きになった場面と、大会宣言、開会宣言とそれから、閉会のことばの4場面ですね。

○坪倉主事

それでは、前回の会議で名前の挙がった候補曲を再生させていただきます。

[音楽再生]

●新倉委員

海づくり大会のファンファーレは少し短いね。10秒くらいしかない。

●井上委員

同じ貝殻節のアレンジならば、わかとり国体のファンファーレのほうがいいですね。

●新倉委員

統一感を持たせるかどうか。山口県では最初と最後のファンファーレが同じ曲なわけだけれど、それを意識してやるか、4つ全部を違えるかどうかですね。

●井上委員

普通の人あまり気にしないでしょうね。音楽聴く立場としては、同じ曲が続くと、ああまたか、と思いますけど。

●新倉委員

じゃあ、ちょうどいいじゃないか。

●小谷委員長

わかとり国体の曲でいいんじゃないかと思うけどな。

●竹田副委員長

じゃあ、インターハイを出さずに。

●小谷委員長

ひとまず、国体のファンファーレをはめておいて、次回にインターハイのファンファーレを聴いてみて、よければ差し替えれば。どうですか？

●全委員

いいと思います。

●小谷委員長

この順番で、いいと思います。わかとり国体の頭から順番に付けていけば。とりあえず、それで、次回の委員会会議のときに、インターハイのをちょっと聞いてもらって、もしもっと良かったらそれに差し替えると。

○坪倉主事

わかとり国体のファンファーレとインターハイのファンファーレを一部取り違えていたようでたいへん失礼しました。次回までに改めて用意しておきます。

●小谷委員長

次です。今度は、シンボルマーク等感謝状贈呈のBGMと、ファンファーレの後にくる御着の曲を決めましょうか。

○濱本補佐

山口では、車から降りられるまでがファンファーレで、歩くところが県民歌だったということですが。

●小谷委員長

その前に、感謝状贈呈の時に、山口では「主よ、人の望みの喜びを」をやったんですけども。ここは、ノーマルな得賞歌にしておけばよいのかどうか。

●井上委員

県民歌を楽器だけでやるとか。そのほうがいいのかなと思ったりしますが。

●新倉委員

「主よ、人の望みの喜びよ」はわりと良かったですね。長いし、これを何回も繰り返さなければならぬ、それで、わりと有名な曲だし。県民歌だと、どうだろうな。ゆっくり演奏するのがいいのかな。すぐ終わっちゃうみたいなのがするから。県民歌でもい

いかもしれないですけど。静かに流れるという路線がよいと思います。この曲にするという意味ではないですが。

●小谷委員長

とりあえず、プロローグの感謝状贈呈と記念切手贈呈の音楽を、どんなものにするか。資料では、「春のシャンソン」？

○坪倉主事

これは、前回の会議で新倉先生から感謝状贈呈等の会議は「春のシャンソン」はどうかと、ご発言があったので、この枠に入れておりますが特に、6曲目から11曲目までは、この曲でなくてはならないということではないです。

○近藤補佐

今坪倉が説明しているのは、資料2についてです。

●新倉委員

「高木東六さんのこういういい曲もありますよ」ということで、これがいちばんいい、という意図はなかったですが。

○坪倉主事

分かりました。では、6曲目から11曲目は同じ枠の中に入っているというような考えで選んでいただければと思います。

●井上委員

特にさっき、小谷先生が言われた、3曲はBGMとして使うから、先に考えておくということですよ？

●小谷委員長

そうですね。

●井上委員

それが感謝状贈呈と、記念切手贈呈と、表彰ということですね。

●新倉委員

表彰を受ける方は鳥取県民なんですか？

○濱本補佐・坪倉主事

全国の中の代表の方が受けていただくこととなっています。

●新倉委員

「ふるさと鳥取」はいいけど、何の曲か全然分からないよね。言葉がないとね。

●井上委員

そうですね。

●新倉委員

「大山賛歌」でも、県民歌でもなんか静かだよ。

●本田委員

何で演奏するのでしょうか？吹奏楽？

●竹田副委員長

鳥取県は、何もまだ決まっていないですよ。山口の資料は入手しましたが、その資料は今日、持って来ていないものですから。

●小谷委員長

資料とは？

●竹田副委員長

この場面では何を演奏する、というリストです。

●新倉委員

これ、言葉とダブるんですかね？読み上げる時？

○濱本補佐

そうです。

●委員全員

演奏だけがいいですね。

●新倉委員

しかも、大編成ではないほうがいい。

□乃村工藝社 浅野D

山口でありましたように、合唱団がスキヤットというか「ラララ…」というような方法も取れます。

●新倉委員

「主よ、人の望みの喜びを」は？

●竹田副委員長

全員でやっています。

●井上委員

ボリューム絞ったのかもしれませんがね。PAの。

●新倉委員

木管アンサンブルみたいな気がしたんですけれども？

●竹田副委員長

アレンジがそんな感じですよ。タララーのところから金管が入ってくると。あとは、金管ですよ。アレンジ上、もともと楽譜はそうなっているんです。

●新倉委員

金管が入ってくると、マイクと声と、ちょっとバッティングするという。

●竹田副委員長

そうですね。

●新倉委員

編成とかどうしていましたか？決まっていますか？

○濱本補佐

編成ですか？編成については、吹奏楽と合唱で250人程度です。

●新倉委員

いや、全体の話でなく、今の感謝状贈呈のところは？

○濱本補佐

3月14日のときに案を出した、合唱と吹奏楽とか色々を出しているんですが、どれでやろうとは決まっています。今のところは、中心は吹奏楽、ただ音楽・曲によって合唱が入るとか入らないとか、場面によって入らない方がよいとかあるかもしれません。その所は今決めて下さい。

●小谷委員長

童謡が「春がきた」とか「おぼろ月夜」とか。そのほか、「大地讃頌」とか。

●新倉委員

その中から、今決めればよい？そういうことではない？

○濱本補佐

それを提案させていただいて、前回、候補案をいただいたんです。

●新倉委員

感謝状贈呈は「春がきた」と。

2分。もっと長いように感じるけど、2分なんだなあ。

●池田先生

山口は5分ではないですか。

●新倉委員

その辺りはどうなんだろう。分からない。2分、5分、どう違うのか？

●小谷委員長

山口は5分で設定してあるけど、こちらは2分しかとっていないね。

□乃村工藝社 浅野D

山口の5分は、3人へ感謝状を贈呈したからです。ポスターとシンボルマークのデザイン、名前。やるメニューが違っているわけです。実際そこを山口方式にするのかということがあるのですけれど。

●新倉委員

2分になるか5分になるかはまだ分からない？

□乃村工藝社 浅野D

最終決定はされていません。

○近藤補佐

今日のラップは何分になっていますか？

○濱本補佐

2分ですね。今のところ、2分が予定になっていますね。

●新倉委員

ちょっとゆっつりの感じかな。

●小谷委員長

ゆっつり、童謡でゆっつりつなぐかな。

●竹田副委員長

「春の小川」、「おぼろ月夜」。

●新倉委員

「春の小川」より「春が来た」のほうがいいかもしれないな。

●小谷委員長

じゃあ、そこは童謡をその分数によってつないで、吹奏楽にアレンジするというので。

●新倉委員

何がありますかね。折角だから、鳥取県民みんなが知っている歌がよいよね。「春のシャンソン」でもいいかもね。「春の小川」でも「おぼろ月夜」も年配の方はたいてい知ってますね。記念切手贈呈も続けてやるんですしたっけ？

○近藤補佐

続きますけど、音楽は切れるんじゃないかな？

○坪倉主事

分かれているから、音楽は変わりますけどね。

●竹田副委員長

切れたら、同じような曲をゆっくり流せば良いのではないのでしょうか？同じような場面だから、別に新しい曲にしなくても。

●新倉委員

本県では、プロローグの感謝状贈呈と記念切手贈呈は続くんですしたかね？

○坪倉主事

いったん、音楽は切れます。

○濱本補佐

切れます。

○坪倉主事

(プログラムは) 連続しますけれども、切れます。山口の場合は、感謝状贈呈をやって東日本大震災復興支援緑化樹木の像の贈呈をやって記念切手贈呈をやるというような流れになってたんで、鳥取県も間に何か挟まったり可能性は、なきにしもあらずですが。

●井上委員

いったん、音は止まる予定だったんですね。

○濱本補佐

表彰者も違うし。これも違うから。

●小谷委員長

この「東日本大震災復興」っていうのは、鳥取県にはないんですよね？

○大北課長

入ってくる可能性はあります。

●小谷委員長

これは、切らずにずっとやっといてもいいだろう？記念切手まで。

○坪倉主事

アナウンスを入れるということになりますかね。

●新倉委員

そのまま、「次に、記念切手贈呈…」のアナウンスならば。どういうやりかたなんでしょうか。

●小谷委員長

別にいったん切ったって全然問題はない、同じ曲でね。

●新倉委員

「春の小川」、「おぼろ月夜」とくると、そこで切れると秋が出てきてしまっ。「もみじ」がピッタリくるような気がしますね。また、春になっちゃうような。あんまり関係ないか？言葉があるからね。

●竹田副委員長

ありますよ。童謡一回大賞の「コスモスの花」。

●新倉委員

「コスモスの花」ね。「コスモスの花」は、わりとむいているよね。

●竹田副委員長

マーチですけども。

●小谷委員長

マーチなの？

●竹田副委員長

山口も記念切手の時は、マーチだったんですよ。

●小谷委員長

そうでしたっけ。

●竹田副委員長

合唱も入っていた「みんなのふるさと」というのは、マーチだったんですよ。

●小谷委員長

そうか。そうか。

●本田専門委員

吹奏楽でアレンジするんですか？

●新倉委員

まあ、するんですね、アレンジを。

「春の小川～おぼろ月夜」が感謝状贈呈で、記念切手贈呈は「コスモスの花」か。

●本田専門委員

12曲のうちそれだけなんですか？新しい童謡は。

●竹田副委員長

アレンジしたのはそれだけです。

○濱本補佐

「コスモスの花」は吹奏楽はありますか？

●竹田副委員長

あります。インターハイで作ったから。

○濱本補佐

そうですか。

●竹田副委員長

短いですよ。

●新倉委員

3分あります。そしたら、ワンフレーズでいい。その曲だけでいっちゃう。

●小谷委員長

なら、とりあえず、そこは、童謡（春の小川～おぼろ月夜メドレー）と「コスモスの花」で対応をすると。

本題の式典に行きましょう。天皇陛下が到着されて、ファンファーレが鳴って、それから御着されるまでを。

●新倉委員

これをどう見ればいちばんいいんだろうか？山口の見たらいいのか？

●小谷委員長

山口を見たらいいですね。山口はファンファーレに続いて県民歌を合唱するようになっています。

●新倉委員

今、ファンファーレが決まったんですね？私達は、これについて何をやるか？

●井上委員

やっぱり、県民歌ですかね。

●新倉委員

これは、天皇陛下が車から降りられて着席されるまでですね？

●小谷委員長

先催県ではそこに、「威風堂々」を、使ったりしているんですね。

○坪倉主事

たまたまこの2年は、和歌山県、山口県と県民歌を使用するケースが続いています。

●小谷委員長

なら、県民歌で。

●新倉委員

合唱、言葉付けていいよね？

●竹田副委員長

いいです。

●小谷委員長

次、開会のことばのファンファーレは決まりました。「君が代」はそれでいいです。次は、表彰ですね。

●新倉委員

こっちは長い、8分弱ですね。

●本田委員

5分くらいになるかもしれないと言っておられたですよ。陛下の御健康に配慮して。

●新倉委員

8分弱って書いてあるかもしれないが、5分くらいにもなるということですね。

○近藤補佐

間違いなく、短くなります。

●本田委員

山口は5分ですね。

●新倉委員

山口は得賞歌？ああ、オリジナル曲か。これも、ラララでしたね。歌詞はない。

●本田委員

「ふるさと」は最後まで取っておきましょう。

●新倉委員

小出しに歌詞なしでということなら「ふるさと」でもありかもね。

●新倉委員

最後にバーンと、「天使達の二重奏」とか。

●井上委員

それは、武中（淳彦）さんの曲ですよ。

●新倉委員

この曲、良い曲ですよ。

●井上委員

そうですかね。

●新倉委員

あと、どんなのがあるか？

●小谷委員長

目安をつけてしまいましょう。

●新倉委員

「ありがとう」を弦楽バージョンでゆったりやりましょう。今、「ゲゲゲの女房」の再放送を見ているから。(笑)

●竹田副委員長

ビートルズの曲を弦楽四重奏みたいにするような感じですか。

●新倉委員

いや、そんなに高尚なことはないけど。そのまま、ゆったりやれば結構いい。「ありがとう」を。

●本田委員

けっこう長いです。

●新倉委員

それでも良いし、あとどんなのがあるかな？

●小谷委員長

オケ（オーケストラ）を使う場面はどこですか？今の想定では。

○濱本補佐

オケは、今聞いていただいている採譜のメロディのところですね。私たちの考えですが。大会テーマ表現と書いてあるところがあると思うんですけども。

●竹田副委員長

苗木の贈呈の所とか？

○濱本補佐

抜きで考えてもらってもいいじゃないか？

□乃村工藝社 浅野D

いろんないい曲がありますので、苗木の贈呈で使って、採譜のやつをそこ（今の案）で絶対入れなきゃいけないというわけではないので。調整可能です。

○濱本補佐

大会テーマ表現のところは、こちらでやらしてもらいたいです。

●小谷委員長

表彰で弦を使うとすると、苗木贈呈とかも弦になるのか。

●新倉委員

「管のみ」と書いてありますよ。「いのちのメロディ」は全部弦でやるという想定ではないですよ。

○濱本補佐

そういう想定ではないですね。

●小谷委員長

いいんじゃないですか。「ありがとう」で。

●本田委員

表彰では管楽器は使わないんですね。弦のみ？

●小谷委員長

弦楽合奏でやりたいよね。

●新倉委員

本田さんがここにせっかくいるんだからやるということかな。そうではない？（笑）

●本田委員

いやいや、私は、その場にいません。

●小谷委員長

「ありがとう」の弦バージョンで。

○坪倉主事

表彰は、いきものがかりの「ありがとう」の弦ですね。

●小谷委員長

表彰は「ありがとう」弦バージョン。お手植え・お手播きは？採譜でも良いか？

●新倉委員

採譜でも良いし、さっきの「春のシャンソン」でも。

●池田委員

「春のシャンソン」は、私は山口大会当日、中継を見ていたんですけど、お手植え・お手播きがすごく長かったですね。

●小谷委員長

すごく長かった。特に、天皇陛下が丁寧に種を何回も蒔かれたので。

●池田明弘

そうそう。

○坪倉主事

お手植え、お手蒔きですね。ちょっと、お手蒔き、お手植えは使用シーンの想定から抜けていましたが、これは当初案は採譜で作曲した曲というふうに考えていただければいいです。その上で検討いただくということで。

●小谷委員長

長いのを「春のシャンソン」でずっとつなぐということでは。

●新倉委員

同じようなことになってしまう。同じようなことばかりやっちゃっている。

□乃村工藝社 浅野D

時間の枠としては11分、実際山口は18分。

○濱本補佐

十数分というのは普通よりもひじょうに長いので、あそこまで長くなってはいけない、というのがあるのですけれども。それと、種を蒔くところの準備もちよっと悪かったようなこととがあります。

●小谷委員長

「春のシャンソン」を耐えられるくらいの…

●新倉委員

逆に先生、苗木の贈呈のときに「春のシャンソン」は3分弱なので、それでお手植えの時に長いと「春のシャンソン」ばかりずっとやっていると、見ている方は余計長く感じられるかもしれませんね。

○坪倉主事

お手植え、お手蒔きが？苗木の贈呈が「春のシャンソン」。

●小谷委員長

お手植えの所で。その方がいいか？山口はバンブーオーケストラで来たんです。鳥取は、この採譜をメインにいったわけだから、それをそこで生かしたらどうか。

●新倉委員

それがいいかもしれないですね。

●小谷委員長

とりあえず、そこは採譜ということで。

●新倉委員

大会テーマの表現、1・2・3というのは何でしたっけ？

●池田委員

いのちのメロディというのはここにある楽譜ですね。これを弦楽でアレンジしたものをやるということで。

□乃村工藝社 浅野D

そうです。

●小谷委員長

とりあえず、そこで、いきましょう。

●新倉委員

大会テーマの表現とは山口でいうメインアトラクションになるのですか？これは、音楽をやっているわけではなくて、何かをやれということですね？

□乃村工藝社

そうです。どちらかというとBGM的なものです。

●新倉委員

そのBGMを考えているということですね。ということは、やっぱり大会テーマ表現3(以前の資料でのプログラム名)までをやった方がいいんじゃないですか？

以前の資料でいきますと、お手植えから始まるっておっしゃいましたよね。資料3、15番のお手植えから「いのちのメロディー」が始まる。あと、大会テーマ表現1、2と大会テーマ表現3があるわけで、山口でいうメインアトラクションにあたるわけなので、ここを何か違う曲をやるわけにはいかないか？

□乃村工芸社 浅野D

ずっと同じ曲ですね。

●新倉委員

そうしないと、色々内容があるだろうから。

●小谷委員長

じゃあ、お手植え・お手播きから大会テーマ表現までを全部採譜を入れて。

●新倉委員

贈呈は？

●小谷委員長

贈呈は「春のシャンソン」。

もうちょっと、頑張ってもらって、式典の最後の山口でいうバンブーオーケストラにあたるのは何をもってきますか？

○坪倉主事

御発ですね。

●竹田副委員長

御発ですね。「ふるさと」でしょう。合唱付きの。

●小谷委員長

御発は、「ふるさと」。御発、これはどこに書いてある？

○坪倉主事

御発とは、天皇皇后両陛下ご退席のことです。

●小谷委員長

ここにきている。もう、ファンファーレが出来ているから。閉会のことばもファンファーレ。

●新倉委員

リレーセレモニーは？

○坪倉主事

リレーセレモニーは、新潟県からCDで音源をもらいます。

●新倉委員

分かりました。今日配られたのでいうと、21の天皇皇后両陛下のご退席ということで

すね？

○坪倉主事

そうです。

●新倉委員

原案は、「ふるさと」じゃない。

○坪倉主事

ちょっと、山口と曲がかぶりますが。

●新倉委員

ご退席ね。ここは、天皇陛下が分からないと面白くないですね。

●小谷委員長

「ふるさと」はそこにしましょう。

●新倉委員

そうだなあ。あってもいいかもしれないですね。

●小谷委員長

とりあえず、そこまで決めさせていただいて、エピローグは、もうちょっと、乃村工藝社さんの提案もあるだろうし、こちらの最後やっぱり全部で、ガーッといきたいというようなものもあるので、ちょっとそこまではおいといて。

●新倉委員

最後また、アトラクションがありますからね。

●小谷委員長

じゃあ、(事務局で)控えていただきましたか、だいたい？それでとりあえず、いわゆるこれで固定ではないですけども、良い曲があればまた、どんどん追加していけばいいなと思いますが、一応皆さんの意見お聞きしました。ちょっと長引いていますが、その先、式典音楽隊の編成について。事務局からお願い致します。

○坪倉主事

資料3の「式典音楽隊の構成について(案)」をご覧ください。前回の会議でも使いました資料のバージョンアップ版でございますけれども、基本的な考え方は幅広い層から選ぶということ、開催地関係者にも参加を呼びかけるということは変わっていません。音楽隊の構成について吹奏楽ですが規模は、100 から 120 そして過去に全日本吹奏楽コンクール高校Aまたは小編成に出場実績のある高等学校を主体とする編成とし、なおかつ練習のしやすさ等も考慮し、米子市内の高校を対象とするというような提案をさせていただきたいと思ひまして、参考として持って来ました資料は、2001年以降、今、申しあげました部門で、中国大会に出場したことがある学校ということになります。今、この案に書きました条件に合致してくるといふところは、米子東高校、米子北高校、米子西高校、米子高校、米子南高校、等になろうかなと思ひているところでございます。加えて開催地3町の中学校の吹奏楽部にも参加出来るようにしたいということです。合唱について、規模は、100 から

120人、県西部地域の合唱団合同編成を主力とするんですが、人数が足りないところは、中部や東部で選抜すると、前回の会議でそういう話になっていたかと思います。演奏する楽曲によって編成を考えるという案にしております。オーケストラにつきましては、今のところ20人程度ですね、というところの人数的目安はついておりますが、あとはやる楽曲等によって変わってくるというところでございます。以上が事務局の案です。

●小谷委員長

そうしますと、まず吹奏楽の方ですが、そういう条件を出して一番は、練習のしやすさということを含めて市内の高校で吹奏楽コンクール中国大会に出場した学校ということで、よろしいでしょうか？

●全委員

異議なし。

●小谷委員長

吹奏楽については、そのようにしたいと思います。合唱につきましては、実際にどうやってやるというのを次回、池田先生お願いします。

●池田委員

楽曲によって編成を考えるということがあります。童謡は「ふるさと」しかないでしょう。

●新倉委員

童謡は、そうですね。「春のシャンソン」は言葉で歌う。違う？

●小谷委員長

あの、「コスモスの花」は？全部？

●新倉委員

それ全部やってしまいます？じゃあ、大活躍ですね。

●小谷委員長

ですので、次回には、名前が出てくるような方向まで池田さんもお願いします。それでは、最後ですが、最後もう一つあります。アレンジですね、採譜をその用途によってアレンジをしてもらわないといけないのですが、これについては、もう（新倉先生の顔を見て）お願いするしかないということですか？

●新倉委員

だから、どんな内容になっていくか？だいたい素材というのは分かったのですけれども。どういう意図があってどういう演出がある、こういうストーリーがあってこうなるのか。楽しそうではあると思うんですけど大変そうになるというようなこともあるので。

●小谷委員長

それでここの曲は、オケにして欲しいとか、合唱にして欲しいとか吹奏楽にして欲しいとかっていうのを早く出してもらわないと。

じゃあ、その方向（新倉先生に依頼）でお願いするしかないです。

その他、何かありますか？

○濱本補佐

式典音楽専門委員会で今小谷委員長さん、竹田副委員長さんはじめ、先生方皆様にお世話になっているんですが、今後、音楽だけに限らず今言いましたように頭から最後まで演出だったり、さっきも、山口で言うと舞踊だったり、集団的演技が入ってきます。委員会にもう少しメンバーを追加させていただいて、この委員会の中で検討をしていただきたいと思っております。

つきましては、追加のメンバーについてはできれば、私たち事務局及び小谷委員長さんの方で選ばせていただいて、(その方々に)またメンバーに加わっていただきたいと思っております。そここのところを、委員長及び私たちに一任いただきたいと思っております。いかがでしょうか？

●新倉委員

個人的には結構なんですけれども、何をやる人が入ってくるの？演出家？

○濱本補佐

演出をされる人は別にいますので、演出家ではありません。

●新倉委員

演出をされる方はここには来ないということですね。

演出される方は彼らですか？どういう方が新しく入れられるのか？どういう方とは、誰がではなくて、何をされる方か？

○濱本補佐

結果的には、演出家の方をお願いするかもしれませんが、選ばれた方は演出されるわけではありません。そういうのを総合的に見ていただくわけではないと。

これは、私のイメージなんですけれども、鳥取県の、例えば歴史だったり、文化だったりに詳しくて、なおかつ総合的な演出に詳しい方と思っていますけれども、たまたま演出される方になるかもしれませんが、ちょっとまだ。

●新倉委員

分かりました。分からないけど、任せます。

●小谷委員長

今、我々が質問した総合演出というのはどうなっているのか？

○濱本補佐

頭から約3時間、プロローグからエピローグまで2時間半ありますけれども、その総合的なことは、今のところは、乃村工藝社さん。

●新倉委員

「いのちのメロディ」も今のところ、そうなんです？

○濱本補佐

はい。

●小谷委員長

よろしいですか？じゃあ、今日はこれにて。

●池田委員

次回の日程決めますか？

○濱本補佐

はい。そうですね。

[委員の都合を確認]

○濱本補佐

7月9日月曜日の午後15時からにしましょう。

●全委員

その日程で結構です。

●小谷委員長

それでは、これで議事を終わります。梅田参事さんにお返しします。

○梅田参事

以上をもちまして、第64回全国植樹祭式典音楽専門委員会第3回会議を閉会いたします。
委員皆さん、長い間、ありがとうございました。

●〇〇（実行委員・専門委員・乃村工藝社） 全員

ありがとうございました。